

平成 30 年 2 月 26 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

税を知る 横浜子どもフリーマーケット

**横浜中法人会（神奈川）**

<活動対象> 小学生

<活動の概要>

- ・横浜中税務署管内の小学生の児童を対象に、適正な税の仕組みを健全に学んでいただくための「税を知る 横浜子どもフリーマーケット」を開催。
- ・参加した子どもたちは、それぞれの売上から8%を「こどもフリーマーケット税」として納め、その使い道を寄付先候補5つの中から協議し決定するなど、楽しみながら税金の健全な納付の重要性と税金の活用について考える。

<参考資料>

事業概要

<摘要>

特になし

<出典>

平成 29 年度租税教育活動プレゼンテーション（高知大会）より



## 体験型の租税教育のベストプラクティス事業へ

＜1年～8カ月前＞：実施計画策定  
開催日・会場決定

＜6カ月前＞：校長会事業開催説明  
ブース出店チラシ作成・WEB告知

＜3カ月前＞：出店者募集  
開催ポスタ配布開始、SNS告知

＜2カ月前＞：租税教育ショー準備  
事前租税アンケート実施

＜1カ月前＞：当日運営計画  
プレスリリース、各種媒体露出

＜開催実施＞：フリマ実施  
租税教室実施  
事後アンケート集計

＜1カ月後以内＞：フリマ税活用  
寄付先への訪問・報告

1年以内で開催計画から実施まで手がけられるため、青年部会の単年度事業に適しています。

当事業では、フリーマーケットを通じて、納税の仕組み、税の大切さだけでなく、税金の使いみちが決定されるプロセス、また税金のゆくえ（使いみち、使われ方）にまで関心を持ってもらうことを重要視しています。

イベント開催の前に出店者のこどもたち（保護者経由）にむけて、ホームページでの税金クイズや、フリマ出店に向けた準備段階でのアドバイス、税金についての意識アンケートなどのコンテンツをメールやWEBを通じて事前に発信し、ただのフリマでなく納税を体験する、自分たちの納めた税金がなにかのために役立つことについて自覚をもってもらいます。

たくさん商品が売れることも大切ですが、正しく売り上げを申告し、きちんと納税する体験を通じ、8%というフリマ税の重みと、その活用の意義について、自分たちで感じてもらう、考えるもらうことが最も大切なことだと私たちは考えます。

イベント当日は、横浜市内の他会青年部会のみなさまや仙台中法人会青年部会の部会長および幹部の方々が是非、参考にしたいと視察に来てくださいました。

